

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 4月4日(日) 13:00~14:30

5月2日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 4月10日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

Tシャツからエコ布ぞうり作り

主催 ごみ対策課

日時 4月15日(木) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 8名(多数の場合は抽選)

料金 無料

申込 往復はがきで4月8日(木)

必着でごみ対策課へ

編集後記

3月6日の第3回みたか環境懇談会「国分寺崖線の湧水と野川」は参加者が70名もあり、大変盛会でした。野川に関する市民の皆様の関心の深さをあらためて知ることができました。続いて行った「湧水見学会」も、お陰さまで、日ごろ気がつかない場所の見学ができ、楽しいひとときを過ごしました。(安達)

問合せ ごみ対策課 内線 2535

第58回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「自然の色」(仮タイトル)

日時 4月18日(日) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

市民大学講座「環境の時代」のまちづくり

主催 三鷹市社会教育会館

日時 平成22年5月14日~平成23年3月

11日 毎週金曜日午前10時~正午

全30回

場所 社会教育会館

対象 16歳以上の三鷹市民(在勤在学含む)

定員 25名(多数の場合抽選) 無料

申込み 4月12日~20日 直接、電話など

問合せ 社会教育会館 内線 3351

記事訂正のお知らせとお詫び

環境ひろば 22号の第一面「減農薬で努力する農家」の記事に誤りがありました。本文7行目の「6アールの畑で」は、「60アールの畑で」と訂正し、お詫びいたします。

発行: みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先: 三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第23号

2010年4月1日発行

三鷹の環境

~ 生活環境部部長 高畑智一さんに聞く ~

今年1月に生活環境部部長になられた高畑智一さんは、三鷹市役所では、固定資産税担当から始まり、経済、財政、ごみ対策、職員課、ふじみ衛生組合とお仕事をされてきました。幼いころは、風光明媚で、自然に恵まれた三陸地方で育たれ、溪流のヤマメやイワナ、清流の水芭蕉がお好きな方です。三鷹市には、小学校5年生の夏に移ってこられました。お時間をいただいて、三鷹の環境についてお聞きしました。

三鷹の環境でお好きなところは「天文台の南側から、ほたるの里、田んぼ、新車の付近、白鷺もいる野川を下流から見る風景」そして、「七中の階段を登って、遊歩道を右に進んだポイントから眺める夕焼けの富士山は印象深い」そうです。

三鷹の環境で気になるところは、「三鷹の緑で、生産緑地が地産地消、防災などの機能を果しているが、それが少なくなっていくのが気になっている」そうです。この緑を保全するためには、「農業者、JA、市民、市が知恵を出し合いながら長い目で考えていかなければならない」と。



天文台裏の飛橋付近から野川の上流を見る

「三鷹に帰ってくると、安心、安全で、生活環境面でも、ほっとするまちであってほしい。長い歴史に培われたたたずまいは守りたい」と。

最後に、三鷹市民にお伝えしたいことは、「まずは、省エネやごみ減量にあたっては、自らできることを息長く続けていくことです。また、日本人がもともと文化として持っていた知恵、例えば、すだれ、打ち水、寒くなったら一枚着込んで、外的なエネルギーを使わず、節約することなどの先人たちの知恵は、私たちにもDNAで伝わっているはず」とのことでした。(安達)

西友三鷹牟礼店の環境活動

～ 西友ハチドリキャンペーンなど ～

西友三鷹牟礼店では、お客様にマイバッグ持参を呼びかける「西友ハチドリキャンペーン」を実施しています。ハチドリキャンペーンは、南アメリカの先住民に伝わるハチドリの物語をもとに、2007年、全国の西友でスタートしたレジ袋削減のための取り組みです。物語に登場する、燃えている森にくちばしで1滴ずつ水を落とすハチドリのように、「お客様と一緒に地球温暖化防止のためにできることをしよう」と、レジではお客様全員に「マイバッグはお持ちですか？」とお声をかけ、マイバッグをお持ちいただいたお客様には精算金額から2円をお引きしています。昨年秋には、三鷹市主催のマイバッグキャンペーンで市民ボランティアの方々にお店の前でマイバッグ持参を呼びかけていただいたりするなど、市や地域の皆様と協力してレジ袋の削減を目指しています。このような継続的な活動とお客様のご協力のおかげで、現在の当店のマイバッグ持参率は約55%と、全国の平均と比べても高い水準となっています。

その他にお客様と一緒に取り組んでいる環境活動としては、リサイクルボックス設置による資源回収が挙げられます。回収した紙パックはトイレトーパーやティッシュペーパーに、食品トレイはプラスチック原料に戻して、ベンチ



店頭でマイバッグ持参を呼びかける様子

や新しい食品トレイにリサイクルされています。

また、資源の使用そのものを減らす「リデュース」の取り組みとして、野菜・魚のばら売り、トレイを使わない真空パック包装の肉など無駄な包装を省く工夫をした商品を販売しています。お客様に低価格で価値あるお買物の機会を提供することを目指す当店では、環境に配慮した商品についても、ご購入いただきやすい価格で魅力ある商品をさらに積極的に販売していきたいと考えております。

市民の皆様においては、マイバッグ持参や資源の有効活用に引き続きご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

(筆者：西友三鷹牟礼店)

「花と緑の広場」が開園

三鷹市が、昨年から整備を進めている「花と緑の広場」が、2月8日に一般開放を始めました。場所は、牟礼1丁目11-26で、元ゴルフ練習場の跡地です。

ここでは、花と緑のまちづくりを推進し、花と緑を通した市民の交流の拠点となることが期待されています。

「花と緑の広場」の中央には、広い芝生があり、その周囲には、花畑、花壇、樹木のゾーンなどがボランティアの協力を得て作られています。

3月28日には開園式典が開催され



広場で移植作業をする緑のボランティアたち

ます。そして花畑でのひまわりの種まきのイベントも行われます。(安達)

三鷹のみち：水車通り

人見街道、大沢の野川にかかる相曾浦橋を渡ると、30mほど先に「水車通り」の入り口があります。

水車通りはここから野川に平行して大沢坂下の四つ角まで、南方の調布飛行場に伸びる約300mの区間で、両側に農家が残るみちです。途中の野川寄りに、東京都指定有形民俗文化財に指定された峰岸家の古民家と「新車(しんぐるま)」と呼ばれる水車があります。

昭和の初め頃まで武蔵野に広く見られたといわれる水車が今に残るこの地域の歴史に、思いを寄せるみちといえま



水車通り

す。

野川の遊歩道を散策のうちに、水車を見学し、この水車通りにも足をのばしてみたいいかがですか。(山口)